

公共施設の未来を考える意見交換会 概 要 報 告

日 時 平成30年5月11日(金)18時30分～20時20分
場 所 雄勝文化会館オービオン 視聴覚ホール
対 象 地 区 雄勝地域(院内地区、横堀地区、秋ノ宮地区、小野地区)

参 加 者 26 人

内 訳	計			30代			40代			50代			60代			70代			80代		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
院内地区	5	5	0	0			0			1	1		2	2		1	1		1	1	
横堀地区	9	7	2	0			0			0			7	6	1	2	1	1	0		
秋ノ宮地区	6	6	0	0			0			0			3	3		3	3		0		
小野地区	6	4	2	0			0			0			5	3	2	1	1		0		
そ の 他	0	0	0	0			0			0			0			0			0		
計	26	22	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	17	14	3	7	6	1	1	1	0

市 出 席 者 湯沢市公共施設アドバイザー、
総務部長、企画課長、企画政策班長、担当

概 要

開 会

あいさつ

総務部長



説 明

①公共施設の現状と今後の取組 (企画課)



<p>説 明</p>	<p>②公共施設の最適化に向けて ～湯沢市民はどう関わるか～ (湯沢市公共施設アドバイザー 川嶋幸夫氏)</p>  
<p>質疑応答、 意見交換</p>	    <p>・次代に残すべき施設を検討する際には、文化的な価値を再認識してもらいたい。新しい施設を建てるときは、利便性を考慮すること。合理化ばかり推し進めて廃止すれば中心部以外の地域はどうなるのか。老朽化だけで判断しないでほしい。</p> <p>⇒(アドバイザー)市民の生活文化、歴史文化を精査したうえで、本当に必要な施設を残していくのが再編計画である。施設の集約や廃止だけが今回の計画の目的ではない。見直し方によっては、新しい施設を整備するのか、公共交通でカバーしていくのか、代替策を皆さんも一緒に考えてほしい。</p> <p>・具体的な案については、市民が協議するだけでなく、行政からも提案してもらいたい。</p> <p>⇒(アドバイザー)行政はたたき台を作成する。そのたたき台を見て、行政対市民ではなく、市民の皆さん同士で議論して意見してもらいたい。</p> <p>・学校に地域コミュニティの場を複合化するのは賛成だが、公共交通が少なくなっている中、離れた場所に集まるのは不便である。</p> <p>・古い文化施設について、現在もトレーニング室や学童保育、集会機能として利用している。このまま利用し続けると事故が起きる気がする。文化財なので、文化財として保存していくのか、そのなかに今あるすべての機能を維持していくのか、計画の前であっても早急に判断すべきと思う。</p> <p>⇒(アドバイザー)計画的に実施するものと、緊急対策として今すぐやるものとは優先順位をつけていく。特に歴史的建造物については、守っていく方法について専門家の意見も聞きながら判断していかなければならない。</p>

・旧小学校など現在全く利用がなく、手つかずにしている施設について、どうしていくのか。今ある施設を検討していくようだが、廃止した施設をそのままの状態にしていることに納得がいかない。

⇒(市)廃止した施設については、選別を進めており、老朽化で利用できない施設については解体する計画をしている。解体基金を設立し、今年度から順次解体に着手しており、解体した後の活用についても検討していく。

・高齢者が非常に多く、近くに施設がなくなると困るという不安がある。公共交通を充実させる手段もあると聞いて安心したが、高齢者のことも考えた計画になるとありがたい。

⇒(アドバイザー)サービスを継続して受けられるように施設だけでなく交通基盤の検討も一緒に考えていかなければならない。

・高齢者になると施設に歩いて行ける距離が短くなる。施設配置の検討はバスの利便性向上も併せて考えてほしい。

⇒(アドバイザー)公共交通があっても、市民の皆さんの利用がなければ継続運行は難しい。市民の皆さんが公共交通を利用することで、お互いに成り立つものなので、ぜひ利用をお願いしたい。

閉 会

20時20分終了